

2025年3月期 第2四半期(中間期) 決算発表 補足資料

2024年10月31日
日本ガイシ株式会社

[セグメント間売上消去後]

□ は2024年4月公表値

□ は2024年4月公表値

	2024年3月期 中間期		2025年3月期 中間期		前年 同期比	2024年3月期 通期		2025年3月期 通期		前期比		
	実績	構成比	実績	構成比		実績	構成比	見通し	構成比			
売上高合計	2,829	100%	2,950	2,984	100%	+5%	5,789	100%	6,200	6,200	100%	+7%
<海外売上高合計>	<2,205>	78%	<2,348>		79%	+6%	<4,463>	77%	<4,900>		79%	+10%
営業利益 (率)	325 (11%)		300 (13%)	397 (13%)		+22%	664 (11%)		750 (13%)	780 (13%)		+17%
エンバイロメント事業 ("EN事業")	1,933	68%	1,950	1,923	64%	△0%	3,907	67%	3,940	3,920	63%	+0%
営業利益 (率)	323 (17%)		315 (18%)	353 (18%)		+9%	646 (17%)		680 (17%)	670 (17%)		+4%
デジタルソサエティ事業 ("DS事業")	661	23%	730	791	27%	+20%	1,382	24%	1,590	1,680	27%	+22%
営業利益 (率)	7 (1%)		0 (7%)	53 (7%)		+614%	23 (2%)		60 (7%)	120 (7%)		+425%
エネルギー&インダストリー事業 ("E&I事業")	235	8%	270	269	9%	+14%	500	9%	670	600	10%	+20%
営業利益 (率)	△5 (-)		△15 (-)	△9 (-)			△5 (-)		10 (-)	△10 (-)		

第2四半期(中間期)の要点 … 前年同期比 増収・増益 売上高は中間期の過去最高を更新

- ① 事業別業績概況(売上高・営業利益)
- 【EN事業】 … 減収・増益
 - 自動車関連 … 中国や東南アジア市場の減速に伴う在庫調整等により、減収。為替円安のプラス効果や費用発生の遅れ等により、営業利益は増加。
 - 【DS事業】 … 増収・増益
 - HPC※ … 為替円安及び一部案件の集中に伴い増収増益。
 - 電子デバイス … データセンター投資の回復に伴うハードディスクドライブ用圧電素子需要増により増収も、低迷が続くパッケージ事業の赤字拡大や、絶縁放熱回路基板の生産能力増強のための立ち上げ費用計上により減益。
 - 【E&I事業】 … 増収・赤字継続
 - ガイシ … 国内外のいいし需要は堅調に推移。為替円安影響も加わり増収増益。
 - エナジーストレージ … 海外案件の出荷により増収も、部材調達コストの上昇等により赤字が拡大。
- ② 為替影響
売上高+122億円、営業利益+77億円
(前年同期141円/USD→当期152円/USD、154円/EUR→165円/EUR)
- ③ 特別損失
固定資産減損損失16億円(パッケージ10億円ほか)
- ※ HPC…半導体製造装置用製品

通期 見通しの要点 … 前期比 増収・増益 営業利益、経常利益は4月公表値を上方修正

- ① 事業別業績概況(売上高・営業利益)
- 【EN事業】 … 増収・増益
 - 自動車関連 … 為替円安によるプラス効果を見込むものの、中国や東南アジア市場の軟調を受け当社製品需要が減少し、減収。コストダウンや値上げ等の効果により採算は改善し、増益を見込む。
 - 産業プロセス … LiB正極材向け焼成炉の出荷時期が前期からずれ込んだこと等により増収も、利益は前期並み。
 - 【DS事業】 … 増収・増益
 - HPC … 市況回復は力強さに欠けるものの、一部需要の前倒しもあり、増収増益。スマホ販売の回復が想定より遅れ、パッケージ事業は低迷が継続する見込みも、旺盛なデータセンター投資に伴うハードディスクドライブ用圧電素子需要増が牽引し増収増益の見通し。
 - 電子デバイス …
 - 【E&I事業】 … 増収・赤字拡大
 - ガイシ … 上期同様、堅調な国内外の送配電網投資による需要増が継続し、増収増益見通し。
 - エナジーストレージ … ドイツの大型案件出荷を見込むものの、一部は来期にずれ込むことに加え、資材価格の上昇も影響し赤字が拡大。
- ② 為替影響
- 前期比
売上高 +65億円、営業利益 +54億円
(前期144円/USD→当期147円/USD、157円/EUR→161円/EUR)
(下期為替前提:140円/USD、155円/EUR)
 - 下期1円当たりの影響
USD (売上高+6億円、営業利益+2.1億円)
EUR (売上高+3億円、営業利益+0.2億円)
- ③ 配当予想
中間30円を決議、期末30円の年間60円を予定。
- ④ サステナブルファイナンス
第10回無担保社債(第4回グリーンボンド)を発行予定
(発行額:50億円程度、発行時期:2024年11月以降、発行年限:5年)

	売上高比	売上高比	前年 同期比	売上高比	売上高比	前期比
経常利益	289	10%	280	384	13%	+33%
親会社株主に帰属する 当期純利益	182	6%	210	259	9%	+42%
ROE	-		-			
1株当たり当期純利益	59.35円			87.02円		
配当金(配当性向)	25円			30円		

為替レート(円/USD)	141	152	144	147
為替レート(円/EUR)	154	165	157	161

設備投資	234	8%	219	7%	△6%	473	8%	680	640	10%	+35%
減価償却費	278	10%	285	10%	+3%	568	10%	570	590	10%	+4%
研究開発費	145	5%	140	5%	△4%	316	5%	310	310	5%	△2%